

## 新座市女性市議と語る会・パート4

期日：2023年10月11日(土) 14:00~16:00

場所：野火止公民館 講義室1・2

主催：にいざジェンダー平等ネットワーク

賛同団体：働く女性の会 自分さがしの会 コープみらい新座市委員会  
性と子育てを考える会 新座民主教育をすすめる会

女性市議の皆さんと2020年3月議会~2023年9月議会を振り返って、今後の展望について話し合います。どうぞご参集ください。

### 新座市の先進的なジェンダー平等センター 「男女共同参画推進プラザ」が無くなって1年半……



新座市は2000（H12）年に埼玉県で最初に「新座市男女共同参画推進条例」を制定、翌2001年には「男女共同参画都市」宣言、2002（H14）には新座市男女共同参画プラザ（にいざほっとぶらざ内）を開設するなど、埼玉県のみならず全国的にも先進的な施策を講じてきました。

そして、2020年2月の新座市議会議員選挙では、議員26名中12名の女性議員（46.2%）が当選され、埼玉県ではトップ、全国自治体の中でも第2位の新座市女性市議数の快挙に、私たちは大変心強く思っております。今年・2023年の統一地方選挙で、女性市議の割合が50%を越す自治体＝埼玉県では三芳町＝が増えました。来年2月に控えている新座市議選挙では更なる女性市議の誕生を、と願っているところで

す。

因みに、2023年6月21日、世界経済フォーラム（WEF）が発表した日本のジェンダーギャップ指数は、146カ国中125位でした。前年（146カ国中116位）から9ランクダウンし、2006年の公表開始以来、最低の順位だったとのことです。

2015年9月の国連サミットで採択された17の持続可能な開発目標（SDGs）の5番目の分野が「ジェンダー平等」で、年限は2030年とされています。

先進的な新座市が、2021年3月末「ほっとぶらざ」閉館に伴って、「男女共同参画推進プラザ」を廃止して1年半経ちました。この間、私たちは2021年3月議会への陳情書、同年9月市長への要望書を提出して、東北コミセンの複合施設に「男女共同参画推進プラザ」の設置を要請してきましたが、「人権推進室で事業を実施していく、新たな拠点施設の設置等を考えていない」旨の回答です。

このような状況下、「女性市議と語る会・4」を開催します。どなたでも参加できますので、ぜひご参加ください。